

2 クラッチ

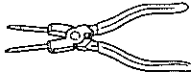


変更概要	2-2
クラッチマスターシリンダー	2-2
準備品	2-2
分解構成図	2-2
断面図	2-3
マスターシリンダー分解	2-3
マスターシリンダー組み付け	2-4

変更概要

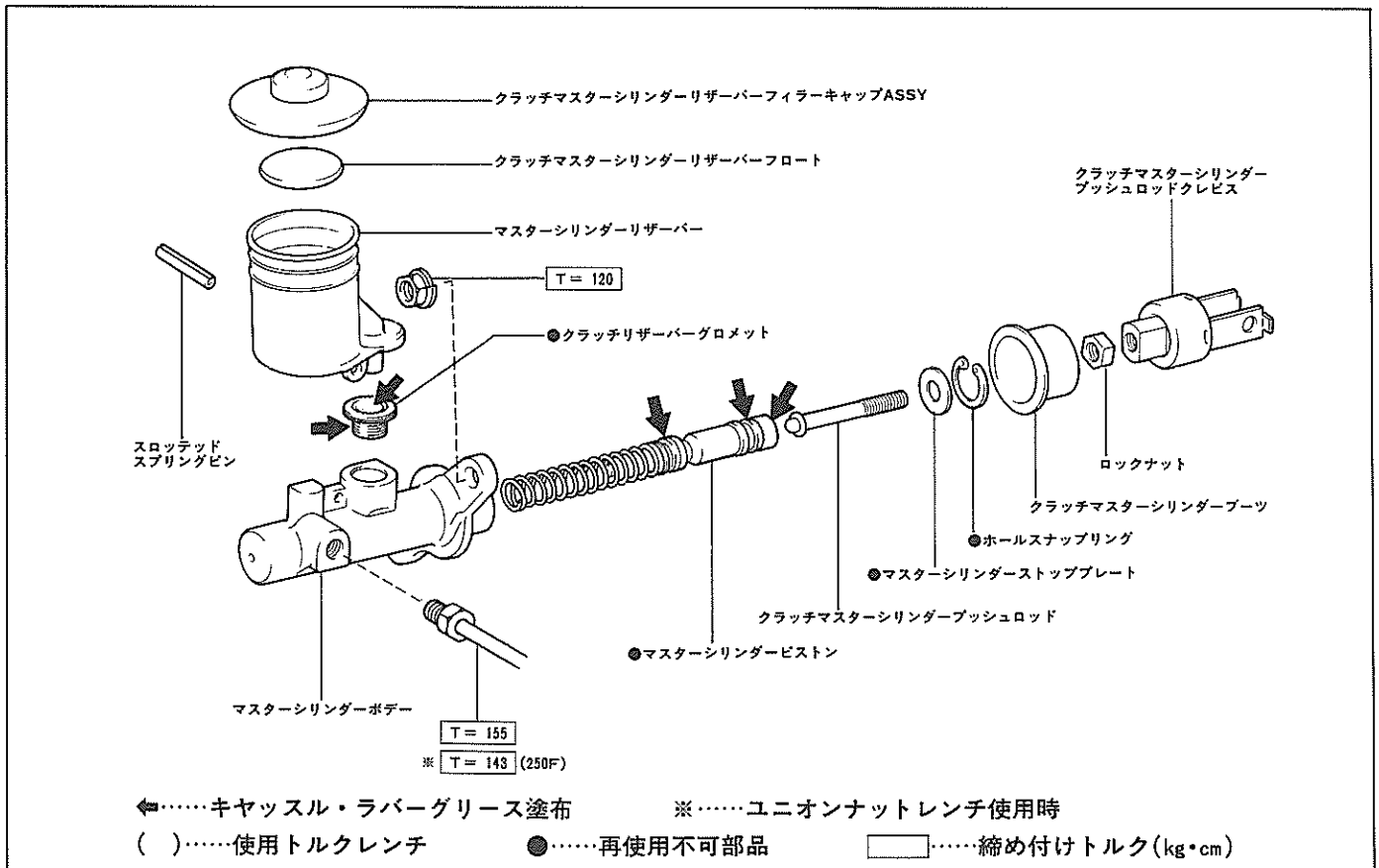
トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書(品番62086, 昭和59年8月発行)の内容より以下の項目を変更しました。

- 1 クラッチマスターシリンダー整備要領の変更

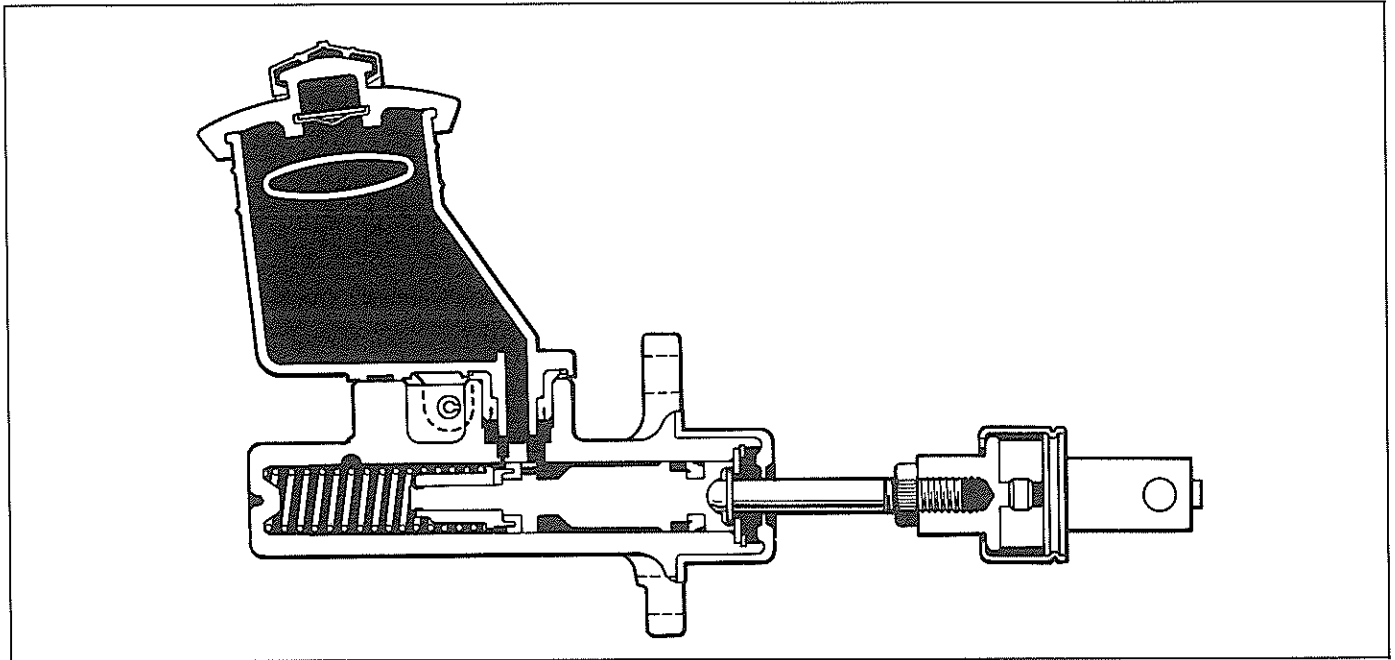
クラッチマスターシリンダー 準備品

SST		09905-00013	スナップリングプライヤー	スナップリング脱着用
工具		09023-00100	ユニオンナットレンチ	クラッチチューブ切り離しおよび接続用
		09031-00040	ピンポンチ	スロッチッドスプリングピン脱着用
油脂 その他	キヤッスル・ラバーグリース			各部への塗布用
	トヨタブレーキフルード2500H			クラッチエア抜き用

分解構成図

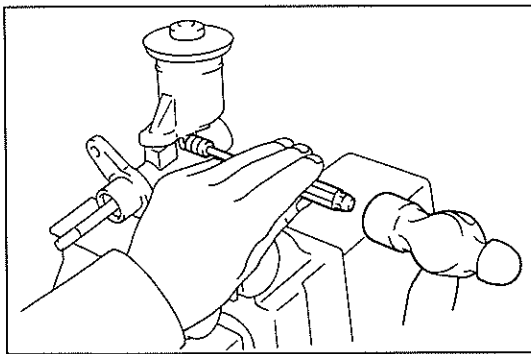


断面図



K6437

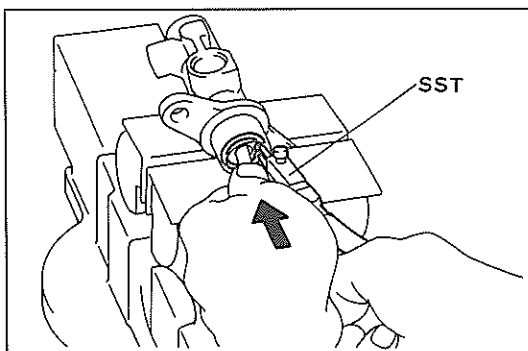
2



K6438

マスターシリンダー分解

- 1 クラッチマスターシリンダープッシュロッドクレビスおよびロックナット取りはずし
- 2 クラッチマスターシリンダーブーツ取りはずし
- 3 マスターシリンダーリザーバー取りはずし
 - (1) アルミ板を介してマスターシリンダーをバイスに固定する。
 - (2) ピンポンチを使用して、スロットッドスプリングピンを打ち抜き、リザーバーを取りはずす。
 - (3) マスターシリンダーリザーバーからリザーバーフィルターキャップASSYおよびリザーバーフロートを取りはずす。
 - (4) リザーバーグロメットを取りはずす。



K6439

4 マスターシリンダーピストン取りはずし

- (1) SSTを使用して、プッシュロッドを押しながらホールスナップリングを取りはずす。
- (2) プッシュロッドおよびストッププレートを取りはずす。
- (3) ピストンをまっすぐに取りはずす。

注意 ピストンを傾けて抜くとシリンダー内面を傷つけるおそれがある。

マスターシリンダー組み付け

1 キヤッスル・ラバーグリース塗布

(P2-2参照)

2 マスターシリンダーピストン組み付け

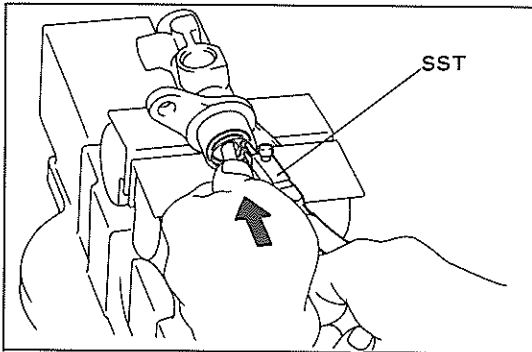
- (1) アルミ板を介してマスターシリンダーをバイスに固定する。
- (2) 新品のピストンをまっすぐマスターシリンダーに挿入する。

注意 ・ピストンを傾けて挿入するとシリンダー内面を傷つけるおそれがある。

・カップのリップ部を傷つけない。

- (3) SSTを使用して、プッシュロッドを押し込んだ状態で新品のストッププレートおよびホールスナップリングを組み付ける。

S S T 09905-00013



K6439

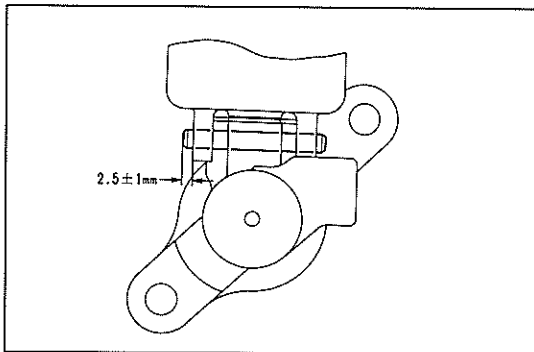
3 マスターシリンダーリザーバー組み付け

- (1) 新品のリザーバークロメットをマスターシリンダーボデーに組み付ける。
- (2) リザーバーフロートおよびリザーバーフィルターキャップASSYをリザーバーに組み付ける。
- (3) ピンポンチを使用して、スロットッドスプリングピンを図の位置まで打ち込む。

基準値 $2.5 \pm 1 \text{ mm}$

4 マスターシリンダーブーツ組み付け

5 ロックナットおよびプッシュロッドクレビス組み付け



K6440